

# News Release

2020年3月24日  
株式会社日立システムズ

## 中小製造業向けの製造工程を支援するクラウドサービス 「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」を販売開始

日立システムズの製造業向け業務ノウハウとサイボウズの「kintone」を活用し、  
リードタイム短縮とコスト削減を実現

### 概要

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:北野 昌宏、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、部品製造業や組み立て加工業を中心とする中小規模の製造業向けに、製造工程において必要な工程進捗管理や図番管理、備品管理などを支援するクラウドサービス「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」を本日から販売開始します。

本サービスにより、中小規模の製造業では製造に必要な機能を網羅したシステムを低価格で導入でき、システムによる情報の一元化で、製造におけるリードタイムの短縮やコスト削減が可能になります。

なお、本サービスは、日立システムズが長年にわたり製造業向けに提供している基幹業務システム「FutureStage」で蓄積した業務ノウハウと、サイボウズ株式会社(以下、サイボウズ)が提供しているビジネスアプリケーション開発を支援するクラウドサービス「kintone(キントーン)」を活用して開発されたものです。

### 背景

中小規模の製造業では、製造工程を管理するうえで必要となる機能を、単独のソフトウェアとして個別に導入しているケースが多く、例えば、受発注についてはシステム化されていても、工程管理については紙の指示書を用いて製造しているなど、システム上での製造情報の一元化が進んでいない状況です。

これにより、作業進捗の確認に時間が掛かるだけでなく、リードタイムやコストの増大が発生しており、情報を一元化できる、低価格で使い勝手の良いシステムの導入が求められています。

### 詳細

こうした背景の下、日立システムズは、中小規模の製造業向けに「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」を販売開始します。本サービスは、日立システムズが蓄積したノウハウを基に、工程進捗管理や品質管理、出荷実績管理、在庫管理など、製造工程を管理するうえで必要な14の管理機能をテンプレートとしてアプリケーションに組み込み、サイボウズの「kintone」を活用したクラウド型サービスです。

本サービスは、タブレット端末やスマートフォンでも操作しやすい画面設計により、作業者は製造ラインで作業をしながらも、簡単に進捗状況を登録することが可能です。登録した内容はクラウドに蓄積されるため、管理者や他の作業者とリアルタイムでの情報共有を実現します。また、システムの監視やバックアップなどの障害対策、不正アクセス防止などのセキュリティ対策についても標準サービスとして提供しているた

め、安心してシステムを利用できます。さらに、本サービスを契約すると、「kintone」が提供している日報管理や出張申請など約 1,000 個のアプリケーションを無償で利用することが可能となります。

これらにより、中小規模の製造業は製造に必要な機能を網羅したシステムを安価に導入でき、情報の一元化を図ることで、製造におけるリードタイムの短縮やコスト削減を実現します。また、専門の情報システム担当者が不在の場合でもシステムの運用管理負荷をかけずに、手軽に業務のシステム化を図ることができ、業務効率や品質の向上ならびに IT コストの低減が図れます。

今後、日立システムズは、「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」の管理機能テンプレートを増やしていくと同時に、中小規模の製造業向けに幅広く拡販し、2020 年度末までに累計 100 社への販売をめざします。

なお、本サービスの提供開始にあたり、サイボウズから以下のコメントをいただいています。

サイボウズは、日立システムズによる「kintone」を活用したクラウドサービスの提供開始を心から歓迎いたします。日立システムズは、サイボウズの各製品を長年にわたり販売しているオフィシャルプラチナパートナーの 1 社です。中堅・中小企業向けのシステム提案・構築・運用に多くの実績を持つ日立システムズの業務ノウハウと「kintone」を組み合わせた「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」は、お客様の課題を解消し、生産性向上に寄与すると確信しております。

サイボウズ株式会社 執行役員 営業本部長 兼 グローバル事業本部副本部長 栗山圭太

## ■画面サンプル(作業指示・工程進捗管理アプリケーション)

受注番号	得意先	納品先	受注日	納期	出荷予定日	受注担当者						
J-001	取得 クリア	株式会社〇×商事	株式会社〇×商事	2020-01-23		test						
<p>参照先からデータが取得されました。</p>												
作業工程												
工順	工程名	手配数	標準作業時間	想定作業時間	機器名称	設備管理番号	工程着手予定日	工程完了予定日	進捗	開始日時	完了日時	
1	プレス		1	0	プレス3号機	取得 クリア	00003	2020-01-27	2020-01-27	完了	2020-01-27 09:00	2020-01-27 11:00
<p>参照先からデータが取得されました。</p>												
2	機械加工		4	0	NC加工1号機	取得 クリア	00008	2020-01-28		作業中	2020-01-28 09:00	
<p>参照先からデータが取得されました。</p>												
3	熱処理		4	0	熱処理装置A	取得 クリア	00004	2020-01-29		未着手		
<p>参照先からデータが取得されました。</p>												

## ■「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」の機能(アプリケーション)一覧

項番	機能(アプリケーション)名称	機能概要
1	見積管理	納品期日、案件確度や製品情報、見積総額等を管理。承認者への申請も可能。
2	受注売上管理	受注情報と売上管理。見積管理からの引用入力が可能。
3	作業指示・工程進捗管理	「工程マスタ」から工程情報の自動入力を実現。工程遅延時には作業指示者に通知も可能。
4	品質管理	検査の手続きの進捗を管理。検査結果の蓄積による不良実績等の参照も可能。
5	出荷管理	出荷の予定と実績の管理。未出荷や当日出荷予定などのレコードを一覧表示可能。
6	在庫管理	製品・部品の在庫管理。各アプリケーション(作業指示・工程進捗管理、出荷管理、発注検収)で行われた受払履歴をデータとして格納し在庫数の確認が可能。
7	発注検収管理	発注品の費用、品番、納期や現在の状況を管理。発注時に承認フローの設定も可能。
8	入荷管理	発注品納品後の検査結果を入力。検品の際に発注検収管理アプリケーションから発注時の情報の引用入力が可能。
9	不良品・トラブル共有	品質管理アプリケーション上の不良情報を担当者へ報告。不良箇所、対処法等を品質管理アプリケーションから転記し管理が可能。
10	契約書管理	締結した契約書を共有。相手方との交渉・内容変更の履歴管理や、更新が必要な契約は時期到来の通知も可能。
11	備品管理	社内で利用する各備品の貸出を管理。返却日の到来時などに利用者に通知を送り、返却漏れを防ぐことも可能。
12	破損・紛失報告管理	「備品管理アプリケーション」のレコード情報を転記し、利用者が備品の破損・紛失した際に報告。設定した管理者への報告も可能。
13	設備保全管理	社内の各設備を管理。設備情報、リース期間、定期点検時期、保守・点検履歴などの管理が可能。
14	5S 管理	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動を管理。活動・改善写真の保存や、管理者への報告が可能。

## ■価格(税抜)

年額:1,200,000 円(5 ユーザー)～

## ■「FutureStage 製造業向けクラウドサービス Light on kintone」の Web サイト

<https://www.hitachi-systems.com/ind/fs/fabrication/function/lightonkintone/>

## ■日立 製造・流通業向け基幹業務ソリューション「FutureStage」について

「FutureStage」は、株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ、日立システムズ、株式会社日立ソリューションズ西日本の4社が開発・販売してきた中堅・中小規模企業向けの基幹業務パッケージを統合し、業種・業務別に体系化して2013年4月より販売している製造・流通業向け基幹業務ソリューションのブランドです。

## ■日立システムズが提供する日立 製造・流通業向け基幹業務ソリューション「FutureStage」について

日立システムズが販売する「FutureStage」は、製造業や流通業などの生産管理や販売管理などを行う基幹業務システムのシリーズ製品で、主に中堅・中小規模企業のお客さまを対象に累積 4,000 システム以上の導入実績があります。特に、各業界特有の業務要件を満たした機能を標準で備えた特定業種向けシステムは、カスタマイズをせずに導入できるモデルとして多くのお客さまに採用されています。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/ind/fs/> をご覧ください。

## ■日立システムズの中小企業に対する取り組みについて

日立システムズは、2018 年から経済産業省が中小企業・小規模事業者の生産性向上を目的に実施している「IT 導入補助金」の IT 導入支援事業者として登録され、「FutureStage クラウド型製造業向け生産管理システム」をはじめとした、各種 IT ツールを提供しています。

さらに、中小企業の IT 活用を支援する IT ベンダー等を情報処理支援機関として認定する制度に申請し、2018 年 10 月にスマート SME サポーターとしても認定されるなど、中小企業が抱える経営課題の解決を多様なデジタルサービスを通じて支援する取り組みに注力しています。

## ■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルイノベーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

## ■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ

商品お問い合わせ窓口:TEL 0120-346-401 (受付時間:9時~17時/土・日・祝日は除く)

お問い合わせWebフォーム:<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

## ■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ サステナビリティ・リスクマネジメント本部

コーポレート・コミュニケーション部 広報担当 城戸崎、藤原

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目 2 番 1 号

TEL:03-5435-7777(代表) E-mail:[press.we@ml.hitachi-systems.com](mailto:press.we@ml.hitachi-systems.com)

以上

\*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。